

新型インフルエンザ対策について

1 平成20年度の主な取組

- 5月26日 第1回横浜市新型インフルエンザ対策推進会議を開催
- 5月～ YCAN上で、職員向け「新型インフルエンザ講座」連載開始
- 6月27日 国（内閣官房、厚生労働省）に対し要望書を提出（八都県市首脳会議）
- 7月18日 横浜検疫所に対し横浜港水際対策に関する見解書を提出（健康福祉局、港湾局、安全管理局）
- 7月28日 新型インフルエンザ対策総合措置訓練へ参加（横浜検疫所主催）
- 7月29日 市緊急事態等対処計画の修正（対策本部設置基準の見直し等）
- 7～8月 職員を対象とした講演会実施（4回 847人参加）
- 9月11日 対策の進ちょく状況の報告（危機管理推進会議）
- 9月20、21日 ライフデザインフェアにて出展ブースを設け、市民啓発
- 10月3日 八都県市新型インフルエンザ対策関係事業者研修会を開催
- 10月23日 「国への緊急アピール」実施（三県市首長懇談会）
- 10月24日 第2回横浜市新型インフルエンザ対策推進会議を開催
- 10月～ 発熱外来の設置について地域中核病院等と協議

2 横浜市新型インフルエンザ対策推進会議

平成17年12月に設置した「新型インフルエンザ対策会議」を、名称を「対策推進会議」と変更し、また、危機管理体制、全庁的体制を強化するなど全面的な見直しを行い、「新型インフルエンザ対策推進会議（議長：佐々木副市長、副議長：上原危機管理監）」として、今年度2回開催した。

(1) 第1回対策推進会議の概要（平成20年5月26日開催）

今後の取り組む方向性について討議を行った。

■ 取り組む方向性

- ア 市民啓発・市職員研修の充実
- イ 「横浜市緊急事態等対処計画」に定める市対策本部の設置をフェーズ3Bからに見直し
- ウ 新型インフルエンザに対応する訓練をさらに充実し、今後も継続
- エ 国の法令改正等を踏まえた「横浜市新型インフルエンザ対策行動計画」を見直し
- オ 区局内で各役割について再検討

(2) 第2回対策推進会議の概要（平成20年10月24日開催）

■ 議題

ア 横浜市新型インフルエンザ対策行動計画の見直しについて

- ・「発熱相談センター」、「発熱外来」の設置
- ・プレパンデミックワクチン・パンデミックワクチンの接種準備
- ・抗インフルエンザウイルス薬の本市独自備蓄 等

イ 新型インフルエンザ発生時の被害想定について

【業務継続計画策定にあたって職場で想定される事態】

- ・海外発生期から国内発生期への移行期間は2～4週間
- ・首都圏での流行期間約8週間
- ・ピーク時の職員の出勤率は4割程度 等

ウ 社会活動の制限に関する取組について（自由討議）

■ 報告事項

ア 区局の取組（瀬谷区、水道局）について

3 今後の取組

- (1) 発熱外来の設置について、地域中核病院等との具体的な調整
- (2) 国の行動計画改定に合わせて、本市行動計画の改定
- (3) 対策訓練の実施

【参考】

○ 本市の訓練実施状況

- | | |
|------------|--|
| 18. 3. 24 | 新型インフルエンザ発生時対応図上訓練 |
| 18. 12. 15 | 新型インフルエンザ対応訓練
(市民病院、市大センター病院、保土ヶ谷福祉保健センター 他) |
| 19. 1. 17 | 新型インフルエンザ対応訓練 (横浜検疫所等関係機関合同)
新型インフルエンザ対応訓練検討会 (緊急対策チーム) |
| 19. 12. 12 | 新型インフルエンザ対応訓練
(横浜労災病院、市民病院、港北福祉保健センター 他) |
| 20. 7. 28 | 新型インフルエンザ対策総合措置訓練 (横浜検疫所等関係機関合同) |

どんな症状なの？

- 新型インフルエンザは、まだ世界で発生していないため、どのような症状が出るかわかっていません。しかし、新型インフルエンザに変異する可能性がある鳥インフルエンザが人に感染した場合には、重い症状がでています。高熱、咳、下痢などに加え、全身状態が悪化します。場合によっては、インフルエンザ脳炎や肺炎をおこし、死亡することもあります。

どうやってうつるの？

- 通常のインフルエンザと同じように新型インフルエンザも、感染した人の咳やくしゃみなどのしぶき（飛沫）とともに放出されたウイルスを吸い込むことによって感染すると考えられています。

もし、流行がおこったら？

- 正確な情報を入手して、落ちついて行動しましょう。
- 不要不急の外出を控え、感染の機会を減らすことも重要です。

保健所からのお願い！

- 東南アジアを中心に、鳥インフルエンザに感染した人の報告が増え続けています。流行地域では、むやみに鳥に接触しないでください。
- 新型インフルエンザがいつ流行するか、誰にもわかりません。流行したときにとる行動について、あらかじめ家族で話し合っておきましょう。
- 新型インフルエンザのホームページ

横浜市 新型インフルエンザ

問い合わせ先

- 横浜市健康福祉局健康安全課
電話：045-671-2463
FAX：045-664-7296
- お住まいの区の福祉保健センター

横浜市健康福祉局健康安全部健康安全課

平成20年3月発行

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

電話 045-671-2463 FAX 045-664-7296

横浜市広報印刷物登録番号第190656号

類別・分類 C-EC350

新型インフルエンザ

流行時に備えましょう！



自分と家族の身を守るために

こんな病気!!

新 型インフルエンザとは、毎年冬に流行するインフルエンザとは違い、ウイルスの性質が大きく変わる（変異する）ことによってできる、私たちが経験したことのないタイプのインフルエンザです。

ア ジアを中心に流行している、H5N1という型の鳥インフルエンザが変異して、人から人に感染する力を持った新型インフルエンザが発生すると考えられており、世界中でその発生が心配されています。

何が問題なの？

大流行(パンデミック)

- 新型インフルエンザに対しては、誰も免疫(病気を防ぐ力)を持っていません。そのため、発生すると、短い期間のうちに世界中で大流行し、**多くの人々に被害を与える**と考えられています。25~50%の人が感染すると想定されています。

特効薬、ワクチン

- 新型インフルエンザの特効薬はありません(一部の抗インフルエンザウイルス薬は、効果がある可能性はあります)。
- 通常のインフルエンザワクチンは効果がありません。新型インフルエンザに効くワクチンは、流行が起こってからしか製造できないため、最短でも流行後6か月はかかるといわれています。

社会的な影響

- 多くの人が同時期に感染するため、生活に必要な流通などの**経済活動が低下し、生活に必要なサービスの提供が制限される**と考えられています。

- ガスや水道、電気などのライフラインが止まる可能性があります。
- 学校や保育所が閉鎖される可能性があります。

日頃からの準備が大切です!

健康で、衛生的な生活を送りましょう

食事

偏食やダイエットは、抵抗力を低下させます。1日3食、バランスのよい食事をとりましょう。



休養

過度な労働や疲労は抵抗力の低下を招きます。睡眠は十分にとりましょう。体調が悪いときには、無理せずに休みましょう。

禁煙

喫煙していると、肺などの呼吸器の働きや抵抗力が低下します。禁煙しましょう。

手洗い・うがい

手洗い・うがいは、衛生的な生活の基本です!

外から帰った後、食事の前などは、流水と石鹸で手を洗いましょう。



症状があるときの注意

咳やくしゃみがでているときの注意

マスクをしましょう!

マスクをすることで、咳などのしぶきに含まれるウイルスが他の人に感染するのを防ぎます。マスクがないときには、ティッシュなどで、鼻と口を押さえてしぶきが飛び散るのを防ぎましょう。使ったティッシュは速やかに捨て、処理後は手を洗いましょう。



痰がでているときの注意

痰は吐き捨てず、ティッシュにとって捨てましょう。処理後は手を洗いましょう。



生活必需品の備蓄をしましょう

地震などの災害に対しては、3日程度の水や食糧の備蓄がすすめられます。しかし、新型インフルエンザの流行は全世界でほぼ同時に起こるため、他の地域からの救援は期待できません。そのため、新型インフルエンザの流行を想定した場合、**少なくとも2週間分の備蓄が必要です**。次の項目を参考に、流行時に外出しなくてもいいように備蓄をしましょう。

備蓄する物品の一例

- 水(1日1人あたり3~4L必要です)
- 食料品(調理が不要な保存食品)
- 日用品、常備薬
- 体温計、マスク、アルコール系消毒薬、氷枕など
- エネルギー(石油や固形燃料など)



みんなで実践！今からできる

新型インフルエンザ対策

あなたとあなたの家族を守るために！



新型インフルエンザとは、これまで人が感染したことのない、新しいタイプのインフルエンザです。誰も免疫（抵抗力）を持っていないため、ひとたび発生すると多くの人が感染し、世界的な大流行（パンデミック）を起こすと心配されています。今、新型インフルエンザの発生が近づいているといわれています。新型インフルエンザの発生に備えて、正しい知識を身につけ、今から準備を進めましょう。

～まずは正しい知識を身につけましょう～

3 新型インフルエンザはどんな病気 重い症状が出る!?

- 通常のインフルエンザと同様、感染した人の咳やくしゃみなどの飛沫とともに放出されたウイルスを吸い込むことにより感染します。また、ウイルスが付着したものを触った手で、目や鼻の粘膜を触ることで感染するといわれています。
- 新型インフルエンザの症状は、実際に発生しないと分かりませんが、新型インフルエンザに変化するとされている鳥インフルエンザ（H5N1）に人が感染した場合は、発熱、咳などの一般的なインフルエンザ様の症状に加え、重い肺炎が多くの人に認められました。新型インフルエンザでも、同様の症状が出る可能性があります。
- 症状が出る前日から感染力を持つため、気付かぬうちに感染を広げる危険性があります。

通常・鳥・新型インフルエンザの症状

	通常のインフルエンザ	鳥インフルエンザ	新型インフルエンザ
原因ウイルス	ソ連型（H1N1） 香港型（H3N2）	（H5N1）	不明 （H5N1?）
感染力	強い	非常に弱い	強い
主な症状	発熱・鼻水・咳 のどの痛み・筋肉痛	発熱・重症肺炎 全身症状	発熱、咳、肺炎？

4 発生した場合の被害予想は

市民の25%が感染!?

【人への被害予想】

- 人口の 25%が感染した場合、横浜市で医療機関を受診する人は 48 万人と予想されています。

【社会的な被害予想】

- 医療機関に感染した人が殺到し、医薬品や医療機器が不足することが予想されます。

本市における医療機関受診者数の予測

医療機関を受診する患者数		483,148 人
内訳	外来患者数	468,564 人
	入院患者数	11,758 人
	死亡者数	2,826 人

（平成 17 年 1 月末現在年齢別人口より試算）

- 医師や看護師に感染が広がれば、医療が停滞することが考えられます。
- 多くの人が同時に感染する上、流行は 2～8 週間続くと考えられるため、電気、ガス、水道などのライフラインに影響が出たり、物流や輸入が停滞することが予想されます。
- 社会不安により治安が悪化したり、パニックが起こる可能性があります。
- 行政サービスが一部休止したり、公共交通機関が運行を縮小する可能性があります。
- 学校や保育所、事業所などの閉鎖、イベントや各種集会の中止、福祉サービスの縮小などが検討されています。また、外出の自粛など、日常生活が制限される場合もあります。

5 新型インフルエンザの最新情報は

ホームページをチェック!

- ・横浜市健康福祉局ホームページ：
http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hpai/new_hpai.html
- ・厚生労働省ホームページ：
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>

1 新型インフルエンザとは 誰も抵抗力を持っていない!

- 新型インフルエンザは、鳥などの動物に感染するインフルエンザウイルスが、人にも感染するようになり、さらに、人から人へと感染しやすく変化して発生すると考えられています。
- 現在、東南アジアなどでは、鳥の間で流行しているインフルエンザウイルス（H5N1などのタイプ）が人にも感染したという報告が続いており、これらが新型インフルエンザのウイルスに変化するのではないかと心配されています。

2 新型インフルエンザが発生すると 多くの人が感染する!

- ほとんどの人が新型インフルエンザに対する免疫（抵抗力）を持っていないため、ひとたび発生すると、短い期間のうちに世界中で大流行し（パンデミック）、多くの人が感染すると考えられています。
- 20 世紀には、10～40 年の周期で 3 回の新型インフルエンザの大流行があり、多くの患者や死者が出ました。特に、1918 年のスペインインフルエンザでは、大きな被害が出ました。
- 新型インフルエンザの感染力などは、実際に発生しないと分かりませんが、政府は、過去に流行したスペインインフルエンザやアジアインフルエンザの被害を参考に、新型インフルエンザが発生した場合、人口の約 25%が感染すると予想しています。

過去の新型インフルエンザも、すべて鳥インフルエンザウイルスが変化したものでした



20 世紀の新型インフルエンザの世界的大流行（パンデミック）

1918 年 （大正 7 年）	スペインインフルエンザ （H1N1 型）	約 4,000 万人死亡 （日本で 39 万人死亡）
1957 年 （昭和 32 年）	アジアインフルエンザ （H2N2 型）	約 200 万人死亡
1968 年 （昭和 43 年）	香港インフルエンザ （H3N2 型）	約 100 万人死亡
20XX 年?	次のインフルエンザ発生（H5N1）?	

～家庭でできる準備を始めましょう～

世界のどこかで新型インフルエンザが発生すると、短期間に日本に侵入して大流行になる可能性があります。正しい知識を身につけ、今から対策を行いましょ。

正しい情報を入手しましょう

- テレビやラジオ、新聞などを通して、政府や自治体が発表する最新の正確な情報を入手しましょう。流行時には、様々な情報が飛び交うことが予想されます。パニックを起こさないよう、今から正しい知識を身につけておきましょう。

全ての感染症対策の基本です！

日ごろから感染対策を心がけましょう

- 日ごろから、一人ひとりが感染対策を習慣づけておきましょう。
 - ・十分な栄養と睡眠をとり、体力や抵抗力を高める
 - ・外から帰ったときには手を洗い、うがいをする
 - ・“咳エチケット”を心がける。外出するときはマスクをする

【咳エチケットとは】

- ・咳やくしゃみをするときは鼻と口をティッシュなどで覆う
- ・使用したティッシュはすぐにフタ付のゴミ箱に捨て、手を洗う
- ・症状のある人はマスクを正しく着用する（健康な人がマスクをしても、ウイルスの吸入を完全に防げるわけではないことに注意が必要です）

- 不特定多数の人が集まる場所への外出を控えましょう。

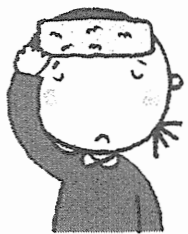


発症した場合の正しい対処法を身につけておきましょう

- 新型インフルエンザが発生したときには、感染が疑われる方のための専門外来を設置する予定です。38℃以上の発熱と呼吸器症状等が認められる場合は、まず、保健所に電話で連絡して、指示を仰いでください。
- 医療機関を受診する際は、マスクを着用し、スタッフの指示に従ってください。
- 感染が疑われた場合、保健所が、患者さんや家族の調査を行うことがあります。
- 流行の初期には、感染が確認された場合、専門の病院に入院して治療を行います。

流行時の注意を心得ておきましょう

- 症状がない時は、むやみに医療機関を受診しないようにしましょう。逆に、患者さんと接触して、新型インフルエンザに感染してしまう可能性があります。
- 感染した人が増えて医療機関が満床になれば、軽症のうちは自宅で療養することになります。誰が感染しても大丈夫なように、家庭でも看護時の注意を確認しておきましょう。



- ・患者さん専用の部屋を用意し、定期的に換気する
- ・患者さんも家族も、マスクを着用する
- ・患者さんの世話をした後は、よく手を洗う
- ・患者さんが触れた場所は、70%の消毒用エタノールもしくは0.05～0.5%の次亜塩素酸ナトリウムでふき取り、消毒する

新型インフルエンザに感染しないためには

- 不要不急の外出を控え、感染の機会を減らすことが一番大切です！

2週間を目安に、食料や日用品、水などを備蓄しましょう

- 新型インフルエンザに感染しないためには、できるだけ外出をしないことが大切です。
- また、電気、ガス、水道などのライフラインに影響が出たり、物流が停滞して食料品や日用品が手に入りにくくなることが予想されます。下の表を参考に、今から少しずつ備蓄を始めましょう。（これらは、地震や停電の時にも役立ちます。）

保存食の例 【食べ物】	器具等の例 【電化製品】	医療・衛生資材の例 【医療器材】
<input type="checkbox"/> 米・乾麺 <input type="checkbox"/> 切餅 <input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> シリアル、コーンフレーク <input type="checkbox"/> 肉・魚・果物・野菜・豆・スープの缶詰 <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> フリーズドライ食品 <input type="checkbox"/> インスタント食品 <input type="checkbox"/> 木の实・ドライフルーツ <input type="checkbox"/> クッキー <input type="checkbox"/> キャンディー <input type="checkbox"/> ビーナッツバター <input type="checkbox"/> 冷凍食品 <input type="checkbox"/> 特殊な食品（特に介護が必要な方がいる場合） <input type="checkbox"/> ベビーフード、粉ミルク <input type="checkbox"/> その他の保存食	<input type="checkbox"/> 携帯電話・充電キット <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 携帯テレビ <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 手動式充電器 【台所用品】 <input type="checkbox"/> ビニール袋（各種サイズ）（汚染されたごみの密閉に利用） <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> 携帯用ガスコンロ <input type="checkbox"/> コンロ用ガスボンベ <input type="checkbox"/> 紙食器 <input type="checkbox"/> アルミホイル <input type="checkbox"/> 洗剤 【日用品その他】 <input type="checkbox"/> 石けん <input type="checkbox"/> シャンプー・リンス <input type="checkbox"/> トイレtpペーパー <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ（アルコールを含むもの） <input type="checkbox"/> 生理用品類 <input type="checkbox"/> ロウソク・マッチ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> これは一例です。ライフスタイルに合わせて、必要な物品を備蓄してください。 </div>	<input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 絆創膏・ガーゼ・脱脂綿 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ゴム手袋 <input type="checkbox"/> 氷枕 <input type="checkbox"/> 塩素系漂白剤（室内の清掃・消毒用） <input type="checkbox"/> 血糖測定・血圧測定機器など（医師の指示のある方） 【医薬品類】 <input type="checkbox"/> 常備薬（解熱薬・胃腸薬など）（解熱剤や風邪薬は、成分によってはインフルエンザ脳症を助長する可能性があります。購入時は、必ず医師や薬剤師に確認してください。） <input type="checkbox"/> 手指消毒薬（アルコールを含むもの） <input type="checkbox"/> イオン飲料（粉末） 【その他】 <input type="checkbox"/> 排泄物処理（固化剤） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>



家族全員で、発生時の対策を考えておきましょう

- 学校や保育所などが休校になった場合、子どもたちが家庭で安全に過ごせる方法を考えておきましょう。
- 公共交通機関が停止した場合、公共交通機関を利用しなくてもよい方法を考えましょ。
- 緊急の受診に備え、家族の健康に関する情報を整理しておきましょう。
 - ・持病の有無、現在服用している薬、子供の場合予防接種歴、アレルギー（食物、薬等）など